

新建築家技術者集団 わがまち見学会 in 犬山市

犬山市は尾張藩の付家老の成瀬氏の城下町として発展しました。

犬山城は16世紀初めに建設された日本最古の天守をもち、城主であった成瀬氏の私有施設として維持管理されてきましたが、2004年に財団法人犬山城白帝文庫に移管されました。

犬山城下町は尾張藩の北の防衛拠点であり、尾張藩の所有していた木曾の材木運搬の中継地でもありました。かつての城下町の姿は、「城とまちミュージアム」に設置された模型でよくわかります。

犬山城下町は「総構え」といわれる構造で、町人地も含めた城下町の外郭を堀などで囲い、東西南の入り口に木戸を設置。現在でも、犬山城から犬山口駅へと向かう本町筋を軸として、城下町の骨格・街路はほぼそのまま残っています。犬山城下町地区の歴史景観を活かしたまちづくりは、2006年に国交省の「まち交大賞」、2011年に同省「手づくり郷土大賞」を受賞しています。住民などの道路拡幅反対を経て、現在の景観保存となりました。

北まち、南まち共に、まちづくりの活動は続いています。城下町地区の本町筋を中心に空き店舗活用が犬山まちづくり株式会社によって進められています。

■日時： 2018年10月14日（日）

元気な北まちと、少しさびしい南まちでした。無料見学の堀部邸と旧磯部邸を楽しく見ることができました。おいしいお蕎麦とスイートポテト味の豆菓子が良かったです。また犬山城・城とまちミュージアム・からくり展示館へ行きたいです。（黒野）



犬山城下町



城下町マップ

堀部邸



前庭



離座敷

堀部邸



玄関



蔵の壁

石垣